

令和 8 年度 岡山県女子剣道講習会 アンケート結果報告書

実施日：2026 年 5 月 31 日

回答総数：20 件

1. 参加者属性

■ 所属支部（上位抜粋）

全体の 3 割が岡山市剣道連盟からの参加でした。その他、玉島、津山、倉敷など各支部から幅広く参加がみられました。

- 岡山市剣道連盟：6 名（30%）
- 玉島剣道連盟：3 名（15%）
- 津山剣道連盟：3 名（15%）
- 倉敷剣道連盟：2 名（10%）
- その他（備前・和気、井笠、新見、真庭、勝田郡、英田）：各 1 名

■ 年齢層

50 代が半数を占めており、40 代以上が全体の 8 割以上を占める結果となりました。

- 20 代：1 名
- 30 代：2 名
- 40 代：2 名
- 50 代：10 名（50%）
- 60 代：4 名
- 70 代以上：1 名

2. 講習内容ごとの評価と満足度

各プログラムともに「とてもよかった」「よかった」が 100%を占め、非常に高い満足度を得られています。

講習プログラム	とてもよかった	よかった	満足度（計）
① ケガを防ぐ体づくり／リズムジャンプ	11 名（55%）	9 名（45%）	100%
② 講習会伝達（全剣連女子指導法）	17 名（85%）	3 名（15%）	100%
③ 礼法・剣道基本動作	17 名（85%）	3 名（15%）	100%
④ 実技「木刀による剣道基本技稽古法」	16 名（80%）	4 名（20%）	100%

3. 受講者の主な感想・意見（要約）

① ケガを防ぐ体づくり・リズムジャンプトレーニング

- **ポジティブな意見：**楽しく身体と脳を動かせた、ストレッチの大切さを再認識した、自道場の子どもたちの稽古にも取り入れたいという前向きな声が多数ありました。
- **課題・要望：**年齢的に少しハードに感じた（翌日筋肉痛や膝にきた）という意見や、限られた稽古時間内での導入の難しさ、体育館でのシューズ着用の必要性を指摘する声もありました。

② 講習会伝達「全剣連女子剣道指導法講習会を受講して」

- **内容への評価：**「伏せたコップに水を注いでも（入らない）」というお話が大変印象深く、技術だけでなく人としてのあり方、指導者としての心構えを振り返る素晴らしい機会になったと絶賛されています。
- **今後の期待：**伝達内容が非常にわかりやすく、自分も次回はぜひ参加してみたいという意欲的な感想が多く見られました。

③ 「礼法」「剣道基本動作」

- **気づきと学び：**普段何気なく行っている所作を見直す良い機会になった。「知っている」だけでなく「言葉で正しく相手（子どもたち）に伝えられること」の難しさと重要性を痛感したという声が目立ちました。
- **要望：**今後、着付けや胴垂れの付け方などを学ぶ機会も欲しいという意見がありました。

④ 実技指導「木刀による剣道基本技稽古法」

- **内容への評価：**竹刀剣道との繋がり（別物ではないこと）や間合いの勉強になり、非常に丁寧でわかりやすかったと好評です。
- **課題・要望：**習熟度（覚えている人とそうでない人）に差があったため、班分けの検討や、講師の先生方による見本（特に9本目の伝達事項など）をまず提示してほしかったという具体的な提案がありました。

⑤ その他（運営全般への意見）

- **感謝の声：**初の女性講師陣による指導や、昼の情報交換会（交流会）が非常に充実しており、役員の細やかな配慮や気配りに感謝する声が多数寄せられました。会場（広さ・駐車場）も高評価です。
- **改善要望：**日程表の掲示（配布がない場合）、印刷物のインクの質、参加者名簿の配布などを求める声や、もう少し剣道（基本打など）の時間が欲しかったという要望がありました。

4. 総括（報告者所感の参考）

今回の講習会は、初の女性講師陣による指導という点も含め、参加者から非常に高い評価と感謝の言葉をいただいています。

単なる技術向上にとどまらず、女性剣士同士の交流や、指導者として「言葉でどう伝えるか」「人としてどうあるべきか」という深い気づきを与える場となりました。

次回に向けては、参加者の年齢層や習熟度に合わせた班分けの工夫、スケジュールや名簿の共有方法などの運営面の細かな改善を行うことで、より満足度の高い講習会になると考えられます。